

お聞かせください

避難生活の中で感じていること、困っていること。除染や賠償、村の事業などについて聞いてみたいこと。ジャンルは問いません。皆さんの声をお聞かせください。



菅野 守さん(関根・松塚)

父親が仮設住宅で亡くなりました。ひと月でもふた月でもいいから村で暮らさせてやりたかったです。2部屋借りていた住宅を1部屋にするため片付けていますが、支援いただいた家電などもありますし、どう片付けたらよいでしょうか。

お悔やみを申し上げます。避難の中で亡くなるお年寄りの気持ちを考えると胸がつかまります。

仮設住宅の退去の際は、掃き掃除や水回りの掃除など個人で行える範囲の清掃作業を行ってください。たばこのヤニや物品の破損等、専門業者による清掃または修繕が必要な場合は、退去者負担となります。修繕が必要な箇所は、退去検査の際に、村が退去者と一緒に確認します。

仮設住宅に備え付けのエアコン・ガスコンロ・給湯器・照明器具・消火器・お風呂のふた・洗濯機の排水溝のL字管・警報機リモコン(設置されている場合のみ)・カーテンは、置いたままにしてください。また、日本赤十字社からいただいた生活家電の6点セット(冷蔵庫・電気炊飯器・電子レンジ・電気ポット・洗濯機・テレビ(台付))は、退去者の所有物となりますので、退去の際はすべて搬出してください。

なお、水道・電気・ガス・電話の停止や、郵便物の転送手続きなども、ご自身で済ませていただくようお願いしています。



花井 カツ子さん(伊丹沢)

避難後に結婚した息子夫婦や娘との居場所になればと、福島市内に家を作りましたが、どういうわけか全然うれしい気持ちになれません。あのすきま風の入る村の実家の方がやっぱりいいと思っています。

生活基盤が村外に移っていたり、子どもの健康への不安があったり、仕事や介護の都合があったりして、避難指示が解除になってもすぐには帰村できない人がいます。現在、行政区懇談会で説明を行っている「いいたてまでの復興計画第5版(案)」では、村民の皆さんがそれぞれ自分の生活を回復しながら家族や村民同士の絆を保ち、そうした中で、村が再び安心して暮らしたり訪れたりできる場所になっていくことを目指しています。復興計画案は、この考えのもと、「ネットワーク型の新しいむらづくり」を掲げ、「戻る人」「戻らない人」「すぐには戻れない人」、さらには村を応援したい村外の人とも一体となって村づくりを進めていきたいとしています。

花井さんのように、村外での生活を継続して、村の自宅にも時々帰りながら、ゆるやかな帰村の状態を続ける人もあるでしょう。それぞれの選択に、それぞれのご苦勞があると思われませんが、この「ネットワーク型の新しいむらづくり」でつながり合いながら、村民一人ひとりの復興が実現されていくよう、村もさまざまな事業や支援を行っていきたく考えています。

いいたて 歳時記

ならわしや季節のあれこれ

その②

「手やすめ」の柏餅

忙しい田植えの時期が過ぎると、皆で仕事を休んで一息をつく2日間の「手やすめ」がありました。手やすめは、田植えの後の週末など、休みの日に合わせて行われまして、手やすめの時、各家では、

柏の葉を山から採ってきて、柏餅を作りました。家族のために働いたそれぞれの家のお嫁さんは、手やすめの日に合わせて、実家へ里帰りをすることができました。柏餅を手土産に、子どもを連れて実家に行くことは、その時代のお嫁さんたちの大きな楽しみでした。忙しくて手が回らなかった鍋磨きを済ませてから実家に向かうのが慣例という家もあったようです。気をもみながら鍋を磨いたであろう当時のお嫁さんの気持ちのばれませぬ。

実家に柏餅を持参し、帰りにまた実家の柏餅を土産に持たされることもあったそうです。手作りの柏餅は、家ごとに、少しずつ作り方や味の違いがあるそうです。



参考:「おばあちゃん、おじいちゃんの知恵袋」村教育委員会発行

おくやみ

氏名	年齢	行政区
高野 勉	87	八木沢・芦原
石井 旭	78	飯樋町
清野 貞義	85	小宮
三本松 シズイ	72	上飯樋
大澤 丈 巳	73	上飯樋
菅野 力	78	関根・松塚

ご冥福をお祈り申し上げます

ひとのうごき

(平成27年5月1日現在)

人口	今月(前月比)	昨年同期
男	2898 (-6)	2906
女	2975 (-5)	2993
計	5873 (-11)	5899
世帯数	1617 (-1)	1642

4月1日~30日までの

人口動態

転入	6人
転出	10人
出生	4人
死亡	11人

(平成22年国勢調査に基づき増減された人口)



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
草野 さくらちゃん	隆洸・真理菜	草野
佐藤 優月くん	和真・麻弥	前田
高橋 あゆ歩 仁くん	裕仁・敦子	深谷

すくすくと元気に育ってね



結婚おめでとう

氏名	出身地
細山 巳 幸	飯樋町
遠藤 百合奈	いわき市
菅野 翼	前田・八和木
根本 智加子	伊達郡川俣町
長谷川 政 宗	前田
吉高 圭 子	伊達市

いつまでもお幸せに

(4月21日から5月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに住民係へ申し出てください。

編集後記

「大火山のツツジが満開だよ」と情報をいただき、役場の軽トラを駆って大火山に向かいました。▼昨年は道路際から少し入って歩いただけでしたが、今年は現地でお会った村民のSさんと一緒に、軽トラ2台で大きく育ったツツジの間を山の上まで登っていきましました。▼生まれてこの方、年々、ここまで急な傾斜を運転したのは初めて！助手席に座ったSさんの友人Kさんと一緒に、次々と現れる鮮やかな紅色の群生と迫力のコースに、ひやあひやあとお声を上げながら、登っていきましました。▼絶景ポイントで軽トラを降り、新緑とツツジが織り成す光景をしばし鑑賞。「いつか皆が訪れる場所」と手入れする皆さんに今年も会えました。(星)